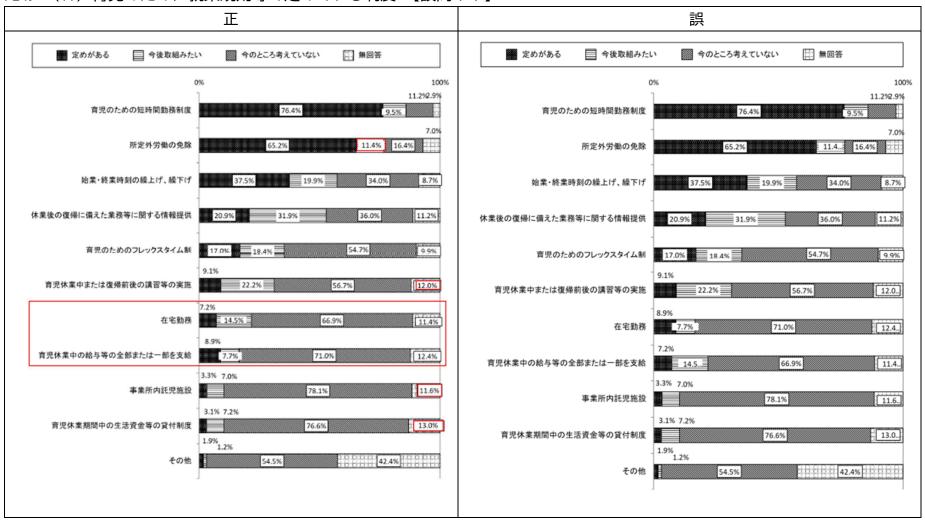
P12. (7)年間休日総数 【設問O7】

正							誤														
	有効回答 事業所数	69日 以下	70日 ~ 79日	80日 ~ 89日	90日 ~ 99日	100日 ~ 109日	110日 ~ 119日	120日 ~ 129日	130日 以上	計		有効回答 事業所数	69日 以下	70日 ~ 79日	80∃ ~ 89∃	90∃ ~ 99∃	100∃ ~ 109∃	110∃ ~ 119∃	120⊟ ~ 129⊟	130日 以上	=t
全体	452	0.9%	2.0%	3.1%	4.6%	22.8%	26.3%	37.2%	3.1%	100.0%	全体	452	0.9%	2.0%	3.1%	4.6%	22.8%	26.3%	37.2%	3.1%	100.0%
10~29人	128	0.0%	3.9%	5.5%	10.9%	18.8%	19.5%	35.2%	6.3%	100.0%	10~29人	128	3.9%	5.5%	10.9%	18.8%	19.5%	35.2%	6.3%	4.0%	100.0%
30~49人	56	0.0%	0.0%	8.9%	7.1%	26.8%	12.5%	42.9%	1.8%	100.0%	30~49人	56	0.0%	0.0%	8.9%	7.1%	26.8%	12.5%	42.9%	1.8%	100.0%
50~99人	54	3.7%	0.0%	1.9%	1.9%	38.9%	31.5%	20.4%	1.9%	100.0%	50~99人	54	3.7%	0.0%	1.9%	1.9%	38.9%	31.5%	20.4%	1.9%	100.0%
100~299人	86	0.0%	2.3%	1.2%	2.3%	25.6%	33.7%	34.9%	0.0%	100.0%	100~299人	86	0.0%	2.3%	1.2%	2.3%	25.6%	33.7%	34.9%	0.0%	100.0%
300~999人	56	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.2%	35.7%	41.1%	0.0%	100.0%	300~999人	56	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.2%	35.7%	41.1%	0.0%	100.0%
1,000人以上	63	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	31.7%	50.8%	6.3%	100.0%	1,000人以上	63	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	31.7%	50.8%	6.3%	100.0%
建設業	25	0.0%	0.0%	12.0%	28.0%	12.0%	24.0%	20.0%	4.0%	100.0%	建設業	25	0.0%	0.0%	12.0%	28.0%	12.0%	24.0%	20.0%	4.0%	100.0%
製造業	102	1.0%	0.0%	1.0%	3.9%	17.6%	20.6%	53.9%	2.0%	100.0%	製造業	102	1.0%	0.0%	1.0%	3.9%	17.6%	20.6%	53.9%	2.0%	100.0%
運輸·通信業	45	0.0%	2.2%	6.7%	0.0%	31.1%	24.4%	31.1%	4.4%	100.0%	運輸•通信業	45	0.0%	2.2%	6.7%	0.0%	31.1%	24.4%	31.1%	4.4%	100.0%
卸売·小売業	76	2.6%	5.3%	2.6%	2.6%	26.3%	31.6%	27.6%	1.3%	100.0%	卸売·小売業	76	2.6%	5.3%	2.6%	2.6%	26.3%	31.6%	27.6%	1.3%	100.0%
金融·保険業	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%	100.0%	金融•保険業	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%	100.0%
飲食サービス・宿泊業	21	0.0%	9.5%	4.8%	14.3%	14.3%	33.3%	23.8%	0.0%	100.0%	飲食サービス・宿泊業	21	0.0%	9.5%	4.8%	14.3%	14.3%	33.3%	23.8%	0.0%	100.0%
医療·福祉	103	0.0%	1.9%	1.0%	1.0%	29.1%	31.1%	31.1%	4.9%	100.0%	医療•福祉	103	0.0%	1.9%	1.0%	1.0%	29.1%	31.1%	31.1%	4.9%	100.0%
教育·学習支援業	14	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	21.4%	42.9%	7.1%	100.0%	教育•学習支援業	14	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	21.4%	42.9%	7.1%	5.3%	100.0%
サービス業	56	1.8%	0.0%	5.4%	7.1%	19.6%	21.4%	42.9%	1.8%	100.0%	サービス業	56	1.8%	0.0%	5.4%	7.1%	19.6%	21.4%	42.9%	1.8%	100.0%
労働組合がある	119	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	14.3%	38.7%	42.0%	2.5%	100.0%	労働組合がある	119	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	14.3%	38.7%	42.0%	2.5%	100.0%
労働組合がない	329	0.9%	2.4%	4.3%	6.1%	26.1%	21.9%	35.6%	2.7%	100.0%	労働組合がない	329	0.9%	2.4%	4.3%	6.1%	26.1%	21.9%	35.6%	2.7%	100.0%

P20. (15) 過去1年間(令和5年4月1日~令和6年3月31日)の出産における育児休業取得状況【設問15】

	女	性	男性			女	:性	男性		
	出産した 女性労働者数	育休取得者の 割合	配偶者が 出産した 男性労働者数	育休取得者 の割合		出産した 女性労働者数	育休取得者の 割合	配偶者が 出産した 男性労働者数	育休取得者 の割合	
全体	394	99.0%	406	52.0%	全体	394	99.0%	211	52.0	
30人以上*	326	99.1%	333	55.6%	30人以上*	326	99.1%	185	55.6	
10~29人	29	96.6%	34	35.3%	10~29人	29	96.6%	12	35.3	
30~49人	17	100.0%	23	39.1%	30~49人	17	100.0%	9	39.1	
50~99人	42	97.6%	24	66.7%	50~99人	42	97.6%	16	66.7	
100~299人	52	100.0%	54	37.0%	100~299人	52	100.0%	20	37.0	
300~999人	67	100.0%	70	64.3%	300~999人	67	100.0%	45	64.3	
1,000人以上	187	98.9%	201	54.2%	1,000人以上	187	98.9%	109	54.2	
建設業	5	100.0%	12	25.0%	建設業	5	100.0%	3	25.0	
製造業	111	100.0%	157	40.8%	製造業	111	100.0%	64	40.8	
運輸·通信業	8	87.5%	47	31.9%	運輸·通信業	8	87.5%	15	31.9	
卸売·小売業	107	97.2%	94	78.7%	卸売·小売業	107	97.2%	74	78.7	
金融·保険業	16	100.0%	5	0.0%	金融・保険業	16	100.0%	0	0.0	
飲食サービス・宿泊業	3	100.0%	3	33.3%	飲食サービス・宿泊業	3	100.0%	1	33.3	
医療・福祉	118	100.0%	48	68.8%	医療·福祉	118	100.0%	33	68.8	
教育·学習支援業	8	100.0%	13	61.5%	教育·学習支援業	8	100.0%	8	61.5	
サービス業	18	100.0%	27	48.1%	サービス業	18	100.0%	13	48.1	
労働組合がある	238	99.2%	259	54.4%	労働組合がある	238	99.2%	141	54.4	
労働組合がない	156	98.7%	146	47.3%	労働組合がない	156	98.7%	69	47.3	

P24. (17) 育児のために就業規則等で定めている制度 【設問17】

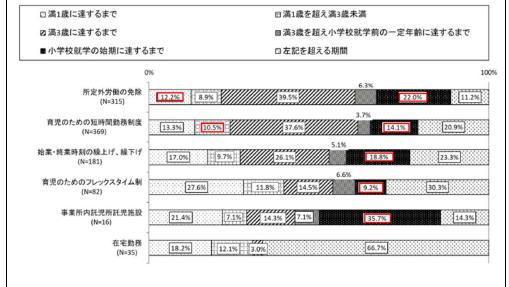


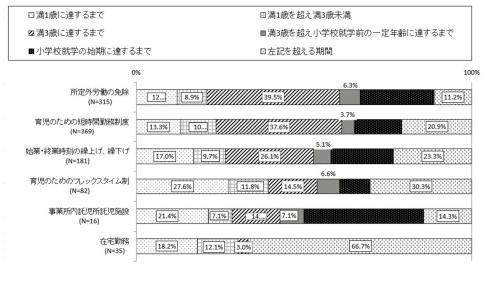
īF

(17)で育児のために就業規則等で定めている制度(下記の6つ)が「ある」とした事業所において、それぞれの最長取得期間は「所定外労働の免除」、「育児のための短時間勤務制度」、および「始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ」については、子どもが「満3歳に達するまで」と回答した事業所の割合が最も高くなっている。また、「育児のためのフレックスタイム制」および「在宅勤務」は「左記を超える期間」と回答した事業所の割合が最も高く、「事業所内託児所託児施設」については「小学校就学の始期に達するまで」と回答した事業所の割合が高くなっている。

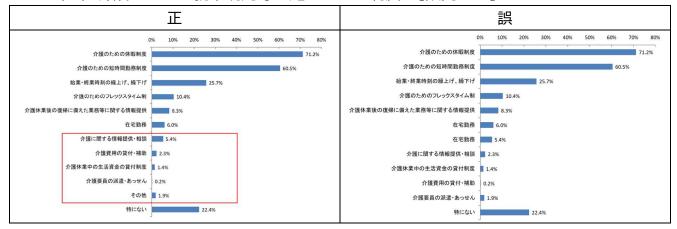
誤

(17)で育児のために就業規則等で定めている制度(下記の6つ)が「ある」とした事業所において、それぞれの最長取得期間は「所定外労働の免除」、「育児のための短時間勤務制度」、および「始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ」については、子どもが「満3歳に達するまで」と回答した事業所の割合が最も高くなっている。また、「育児のためのフレックスタイム制」および「在宅勤務」は「左記を超える期間」と回答した事業所の割合が最も高く、「事業所内託児所託児施設」については「<u>満1歳に達するまで</u>」と回答した事業所の割合が高くなっている。

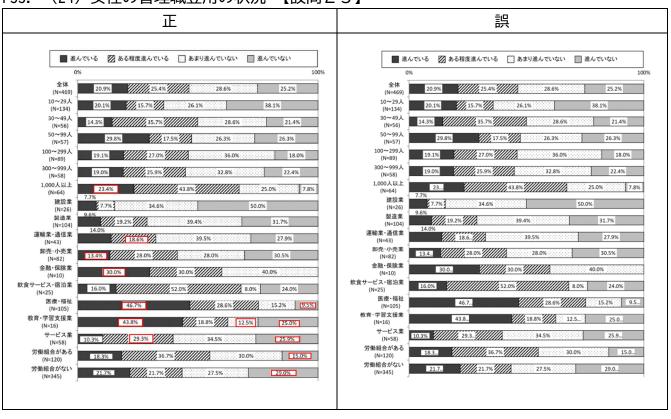




P31. (22) 介護のために就業規則等で定めている制度 【設問22】



P33. (24) 女性の管理職登用の状況 【設問25】



P37. (28) 雇用形態の転換制度 【設問29】

īΕ

非正規社員から正規社員への転換制度については、 制度がある事業所の割合は 58.0%、実際例がある事 正規社員への転換制度については、制度がある事業所 の割合は 38.0%、実際例がある事業所の割合は 54.3%となっている。

非正規社員から正規社員への転換制度については、 制度がある事業所の割合は 48.7%、実際例がある事 業所の割合は 73.2%となっている。正規社員から非 │業所の割合は 73.2%となっている。正規社員から非 正規社員への転換制度については、制度がある事業所 の割合は 28.7%、実際例がある事業所の割合は 54.3%となっている。

「多様な正規社員」制度 【設問31】 P40. (30)

	有効回答 事業所数	動務地限定の正規 社員制度がある	職務限定の正規社 員制度がある	勤務時間限定の正 規社員制度(短時 間正規社員制度) がある	あてはまる 制度はない
全体	474	18.4%	9.9%	7.8%	75.79
10~29人	144	6.3%	6.9%	5.6%	84.79
30~49人	51	13.7%	3.9%	9.8%	90.29
50~99人	56	8.9%	3.6%	5.4%	89.39
100~299人	89	15.7%	13.5%	7.9%	76.49
300~999人	58	25.9%	13.8%	6.9%	63.89
1,000人以上	65	56.9%	20.0%	13.8%	38.59
建設業	26	15.4%	11.5%	0.0%	84.69
製造業	103	14.6%	6.8%	7.8%	78.69
運輸·通信業	44	22.7%	13.6%	11.4%	68.29
卸売·小売業	84	21.4%	7.1%	4.8%	76.29
金融·保険業	10	30.0%	50.0%	0.0%	50.09
飲食サービス・宿泊業	26	57.7%	19.2%	23.1%	42.39
医療·福祉	108	10.2%	8.3%	11.1%	81.59
教育·学習支援業	16	6.3%	12.5%	6.3%	81.39
サービス業	57	17.5%	7.0%	1.8%	78.99
労働組合がある	121	37.2%	20.7%	9.9%	55.49
労働組合がない	349	12.0%	6.3%	6.9%	82.89

	有効回答 事業所数	勤務地限定の正規 社員制度がある	職務限定の正規社 員制度がある	勤務時間限定の正 規社員制度(短時間正規社員制度) がある	あてはまる 制度はない
全体	474	18.4%	9.9%	7.8%	75.7%
10~29人	144	6.3%	6.9%	5.6%	84.7%
30~49人	51	13.7%	3.9%	9.8%	90.2%
50~99人	56	8.9%	3.6%	5.4%	89.3%
100~299人	89	15.7%	13.5%	7.9%	76.4%
300~999人	58	25.9%	13.8%	6.9%	63.8%
1,000人以上	65	56.9%	20.0%	13.8%	38.5%
建設業	26	15.4%	11.5%	0.0%	84.6%
製造業	103	14.6%	6.8%	7.8%	78.6%
運輸·通信業	44	22.7%	13.6%	11.4%	68.2%
卸売·小売業	84	21.4%	7.1%	4.8%	76.2%
金融·保険業	10	30.0%	50.0%	0.0%	50.0%
飲食サービス・宿泊業	26	57.7%	19.2%	23.1%	42.3%
医療・福祉	108	10.2%	8.3%	11.1%	81.5%
教育·学習支援業	16	6.3%	12.5%	6.3%	81.3%
サービス業	57	17.5%	7.0%	1.8%	78.9%
労働組合がある	114	39.5%	21.9%	10.5%	58.8%
労働組合がない	403	10.4%	5.5%	6.0%	71.7%

P42. (32) テレワークの導入 【設問33】

正	誤						
図 29 テレワークの導入について(複数回答・全	本 図 29 テレワークの導入について(複数回答・全体						
N= <u>470</u>)	N= <u>523</u>)						

P45. (35) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に関する取組み 【設問36】

TF.

ワーク・ライフ・バランスに関して実施している取組みについては、「年次有給休暇取得促進」

が 71.2% と最も高く、次いで「労働時間削減の取組み」が 58.0% となっている。現在は実施して

いないが、今後実施したい取組みについては、「従業員の心身の健康支援」が 25.9% と最も高く、

次いで「従業員の地域活動支援」が25.3%となっている。

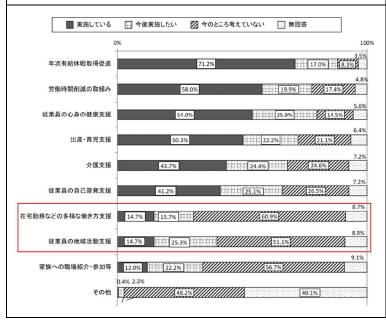
誤

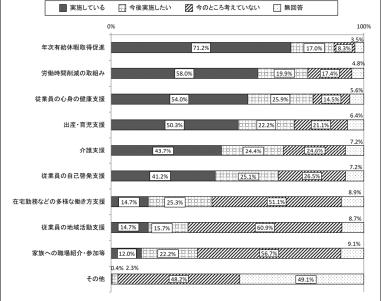
ワーク·ライフ·バランスに関して実施している取組みについては、「年次有給休暇取得促進」

が 71.2%と最も高く、次いで「労働時間削減の取組み」が 58.0%となっている。現在は実施して

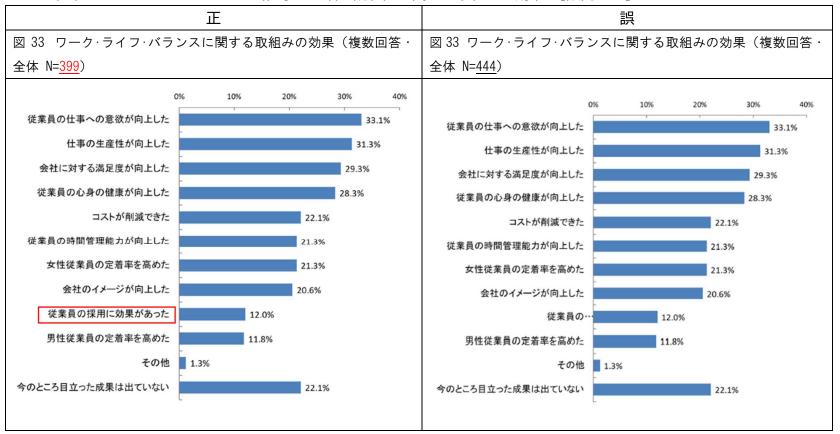
いないが、今後実施したい取組みについては、「従業員の心身の健康支援」が25.9%と最も高く、

次いで<u>「在宅勤務などの多様な働き方支援」</u>が 25.3%となっている。





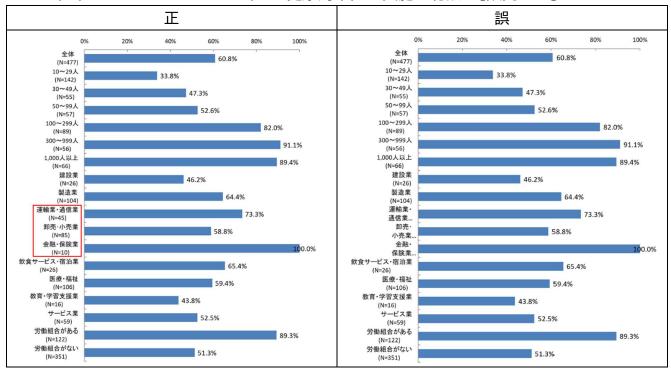
P47. (36) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) に関する取組みの効果 【設問37】



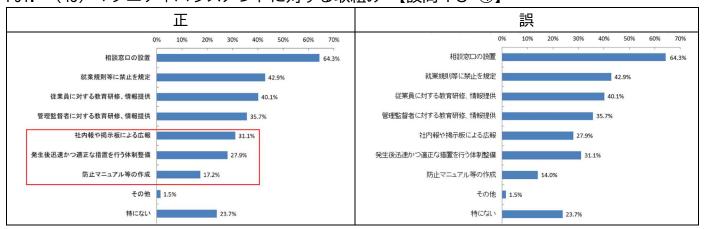
P47. (37) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に関する取組みのメリット 【設問38】

正	誤
図 34 ワーク・ライフ・バランスに関する取組のメ	図 34 ワーク・ライフ・バランスに関する取組のメ
リット(全体 N= <u>174</u>)	リット(全体 N= <u>185</u>)

P48. (38) メンタルヘルスケア(心の健康対策)の実施の有無 【設問41】



P51. (43) マタニティハラスメントに対する取組み 【設問43-④】



P52. (44) パタニティハラスメントに対する取組み 【設問43-⑤】

正	誤
図 41 パタニティハラスメントに対する取組み(複	図 40 パタニティハラスメントに対する取組み(複
数回答・全体 N= <u>470</u>)	数回答・全体 N= <u>520</u>)